

子ども読書活動の推進

【現状と課題】

豊かな感性や情緒をはぐくむとともに豊かな言語力を育成する観点から、読書活動は重要です。

平成16年2月に「鹿児島県子ども読書活動推進計画」を策定し、読書活動を推進しています。これまで、市町村立図書館等における個人貸し出し冊数や図書館ボランティアを受け入れる図書館数、親子読書会の団体数や会員数、朝読書等の実施学校数などいずれも増加しており、子ども読書活動の充実に向けて、家庭や地域、学校等で努力が続けられています。

児童生徒の1か月の読書量は、小中学校は、全国を上回っており、高等学校は概ね、全国平均と同じです。しかしながら、学年が進むに従って本を読まない児童生徒が増える傾向にあります。児童生徒への働きかけや年間を通した読書活動の気運醸成等に力を入れていく必要があります。

【これからの施策の方向性】

子どもの読書活動に関する県民の関心を高めるとともに、家庭、地域、学校が連携し、社会全体での取組を推進します。

子どもが読書に親しむ機会の提供と諸条件の整備・充実に努めます。

【主な取組】

鹿児島県子ども読書活動推進計画を着実に推進するために、市町村及び関係教育機関・団体等への周知を図るとともに、市町村の推進計画の改定を促進します。

子ども読書活動推進について広報啓発を行い、子ども読書活動推進の社会的気運の醸成を図ります。

平成21年度に開館する奄美図書館を奄美地域における図書館活動の拠点とし、「児童閲覧室」等を活用しながら、奄美地域の子どもの読書活動の推進に努めます。

県立図書館や奄美図書館を核として、図書館関係者の資質向上や、読み聞かせ・親子読書のボランティア等の人材育成のための各種研修会を実施するとともに、市町村立図書館（室）等の運営や諸活動を支援します。